

## 1. データ形式

## ○形式 : XML形式

&lt;XX&gt;と&lt;/XX&gt;のようにタグと呼ばれる記号で文字を囲むことで、各項目の内容を記載します。

スラッシュのついていないタグが始まりを示し、スラッシュのついたタグが終わりを示します（セットイメージは（注1）をご覧ください）。

## ○文字コード : UTF-8 (BOM 無し)

## ○改行コード : LF

## ○1回にアップロードできる最大明細数 : 600件（注1）

## 2. レコードフォーマット

## ○「属性」欄の記載について

text : 英字・数字・記号 date : 年月日 decimal : 小数

カッコ内は最大バイト数 (decimal(X, Y)) の X は小数点の1バイト分を除く最大バイト数、Y は小数点以下バイト数です）。半角文字は1文字あたり1バイトになります。

## ○ISO20022 (MX) 形式 『仕向送金 送金明細データ XML形式』のダウンロードファイルでもそのままアップロード可能です。

## ○データ値に改行は使用できません。

○ : 必須、△ : 条件付き必須（セット条件は内容欄をご確認ください。）

項目番号	XML タグ		Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容
	階層	列番号			タグ	値			
1	<Document>	13	Document	-	○			-	[XML ドキュメントルート] 以下の内容をXMLタグにセット（△は半角スペース） <Document△ xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:pain.001.001.09">
2	<CstmrCdtTrfInitn>	13	Customer Credit Transfer Initiation V09	-	○			-	[電文のID] XMLタグをセット
3	<GrpHdr>	13	Group Header	-	△			-	[ヘッダ情報] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
4	<InitgPty>	13	Initiating Party	-	△			-	[送金代行会社] 配下にセットする場合、XMLタグをセット ※送金代行会社は通常は利用しません。 真に必要な場合のみご利用ください。
5	<Nm>	13	Name	text(140)	△	△		Type B	名前をセット ※送金代行会社を設定する場合、必ずセット
6	<PstlAdr>	13	Postal Address	-	△			-	[送金代行会社の住所]（注3） 配下にセットする場合、XMLタグをセット
7	<Dept>	13	Department	text(70)				Type B	部署をセット
8	<SubDept>	13	Sub Department	text(70)				Type B	課をセット
9	<StrtNm>	13	Street Name	text(70)				Type B	町域 / 番地をセット
10	<BldgNb>	13	Building Number	text(16)				Type B	建物番号をセット
11	<BldgNm>	13	Building Name	text(35)				Type B	建物名をセット
12	<Flr>	13	Floor	text(70)				Type B	建物(階)をセット
13	<PstBx>	13	Post Box	text(16)				Type B	私書箱をセット
14	<Room>	13	Room	text(70)				Type B	部屋番号をセット
15	<PstCd>	13	Post Code	text(16)				Type B	郵便番号をセット
16	<TwnNm>	13	Town Name	text(35)	△	△		Type B	市区町村をセット ※送金代行会社を設定する場合、必ずセット
17	<TwnLctnNm>	13	Town Location Name	text(35)				Type B	区域をセット
18	<DstrctNm>	13	District Name	text(35)				Type B	地方/郡/地域をセット
19	<CtrySubDvsn>	13	Country Sub Division	text(35)				Type B	都道府県 / 州をセット
20	<Ctry>	13	Country	text(2)	△	△		Type G	国名(国コード)をセット ※送金代行会社を設定する場合、必ずセット
21	<Id>	13	Identification	-	△			-	[ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット [事業体ID]または[個人ID]のいずれかをセット可能
22	<OrgId>	13	Organisation Identification	-	△			-	[事業体ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
23	<AnyBIC>	13	Any BIC	text(11)				Type F	BIC(SWIFTコード)をセット
24	<LEI>	13	LEI	text(20)				Type F	LEI (Legal Entity Identifier) をセット
25	<Othr>	13	Other	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット
26	<Id>	13	Identification	text(35)	△	△		Type A	IDをセット ※事業体IDをセットする場合、必ずセット
27	<SchmeNm>	13	Scheme Name	-				-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能
28	<Cd>	13	Code	text(4)				Type G	コード形式のIDをセット（注4） (例) TXID
29	<Prtry>	13	Proprietary	text(35)				Type A	テキスト形式のIDをセット (例) Tax Identification Number
30	<Issr>	13	Issuer	text(35)				Type A	IDを発行した事業体をセット
31	<PrvtId>	13	Private Identification	-	△			-	[個人ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
32	<DtAndPlcOfBirth>	13	Date And Place Of Birth	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット
33	<BirthDt>	13	Birth Date	date(10)	△	△		-	生年月日(YYYY-MM-DD)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
34	<PrvcOfBirth>	13	Province Of Birth	text(35)				Type A	出生の州をセット
35	<CityOfBirth>	13	City Of Birth	text(35)	△	△		Type A	出生の都市をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
36	<CtryOfBirth>	13	Country Of Birth	text(2)	△	△		Type G	出生国(国コード)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット

項目番号	XML タグ							属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容	
	階層								タグ	値				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
37							<Othr>	Other	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット
38							<Id>	Identification	text(35)	△	△		Type A	IDをセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット。 居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）は セットしないでください。
39							<SchmeNm>	Scheme Name	-				-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能
40							<Cd>	Code	text(4)				Type G	コード形式のIDをセット (注4) (例) TXID ※居住国が日本の場合、「NIDN」 (National Identity Number) はセットしないでください
41							<Prtry>	Proprietary	text(35)				Type A	テキスト形式のIDをセット (例) Tax Identification Number ※居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）に 相当する総称はセットしないでください
42							<Issr>	Issuer	text(35)				Type A	IDを発行した事業体をセット
43							<CtryOfRes>	Country Of Residence	text(2)				Type G	居住国（国コード）をセット (住所の国名と居住国が異なる場合)
44							<PmtInf>	Payment Information	-	○		600	-	[送金明細] XMLタグをセット ※複数の送金明細をセットできます (注1)
45							<PmtInfId>	Payment Information Identification	text(35)				-	セット不要
46							<ReqdExctnDt>	Requested Execution Date	-	○			-	[送金指定日等] XMLタグをセット
47							<Dt>	Date	date(10)	○	○		-	送金指定日(YYYY-MM-DD)をセット
48							<Dbtr>	Debtor	-	△			-	[送金依頼人] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
49							<Nm>	Name	text(140)				-	セット不要 (お届出の「英文社名」がセットされます)
50							<PstlAdr>	Postal Address	-				-	セット不要 (お届出の「英文住所」がセットされます)
51							<Dept>	Department	text(70)				-	セット不要
52							<SubDept>	Sub Department	text(70)				-	セット不要
53							<StrtNm>	Street Name	text(70)				-	セット不要
54							<BldgNb>	Building Number	text(16)				-	セット不要
55							<BldgNm>	Building Name	text(35)				-	セット不要
56							<Flr>	Floor	text(70)				-	セット不要
57							<PstBx>	Post Box	text(16)				-	セット不要
58							<Room>	Room	text(70)				-	セット不要
59							<PstCd>	Post Code	text(16)				-	セット不要
60							<TwnNm>	Town Name	text(35)				-	セット不要
61							<TwnLctnNm>	Town Location Name	text(35)				-	セット不要
62							<DstrctNm>	District Name	text(35)				-	セット不要
63							<CtrySubDvsn>	Country Sub Division	text(35)				-	セット不要
64							<Ctry>	Country	text(2)				-	セット不要
65							<Id>	Identification	-	△			-	[ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット [事業体ID]または[個人ID]のいずれかをセット可能
66							<OrgId>	Organisation Identification	-	△			-	[事業体ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
67							<AnyBIC>	Any BIC	text(11)				Type F	BIC(SWIFTコード)をセット
68							<LEI>	LEI	text(20)				Type F	LEI (Legal Entity Identifier) をセット
69							<Othr>	Other	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット
70							<Id>	Identification	text(35)	△	△		Type A	IDをセット ※事業体IDをセットする場合、必ずセット
71							<SchmeNm>	Scheme Name	-	△			-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
72							<Cd>	Code	text(4)	△	△		Type G	コード形式のIDをセット (注4) (例) TXID ※事業体IDをセットする場合、必ずセット
73							<Issr>	Issuer	text(35)				Type A	IDを発行した事業体をセット
74							<PrvtId>	Private Identification	-	△			-	[個人ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
75							<DtAndPlcOfBirth>	Date And Place Of Birth	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット
76							<BirthDt>	Birth Date	date(10)	△	△		-	生年月日(YYYY-MM-DD)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
77							<PrvcOfBirth>	Province Of Birth	text(35)				Type A	出生の州をセット
78							<CityOfBirth>	City Of Birth	text(35)	△	△		Type A	出生の都市をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
79							<CtryOfBirth>	Country Of Birth	text(2)	△	△		Type G	出生国（国コード）をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット

項目番号	XML タグ							属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容
	階層								タグ	値			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
80	<0thr> <Id> <SchmeNm> <Cd> <Issr>	Other	-	△			-						配下にセットする場合、XMLタグをセット
81		Identification	text(35)	△	△		Type A						IDをセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット。 居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）は セットしないでください。
82		Scheme Name	-	△			-						[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
83		Code	text(4)	△	△		Type G						コード形式のIDをセット（注4） (例) TXID ※個人IDをセットする場合、必ずセット。 居住国が日本の場合、「NIDN」 (National Identity Number)はセットしないでください。
84		Issuer	text(35)				Type A						IDを発行した事業体をセット
85		Debtor Account	-	△			-						[引落口座情報] 配下にセットする場合、XMLタグをセット 内訳1件の場合セット 内訳複数件の場合（注5）参照
86		Identification	-	△			-						配下にセットする場合、XMLタグをセット
87		Other	-	△			-						配下にセットする場合、XMLタグをセット
88		Identification	text(34)	△	△		Type F						決済方法の引落口座番号をセット ※内訳1件の場合、必ずセット  「引落口座店番(3桁)(前ゼロ埋め) +引落口座通貨略名(3桁) +引落口座科目コード(2桁)（「00」普通／「01」当座) +引落口座番号(7桁)(前ゼロ埋め)」をセット  (例) 引落口座の店番001、通貨USD、 科目（普通）00、口座番号1234567 の場合 <Id>001USD001234567</Id>
89		Currency	text(3)				-						セット不要
90	<Prxy> <Tp> <Prtry>	Proxy	-				-						セット不要
91		Type	-				-						セット不要
92		Proprietary	text(35)				-						セット不要
93		Ultimate Debtor	-	△			-						[真の依頼人（第三者名義人）] 配下にセットする場合、XMLタグをセット <PmtInfr>配下(項目93)または、 <CdtrTrxInfr>配下(項目151)のいずれかをセット可能 ※両方セッタしたらどちらも取り込まれません
94	<Nm> <PstlAdr> <Dept> <SubDept> <StrtNm> <BldgNb> <BldgNm> <Flr> <PstBx> <Room> <PstCd> <TwnNm> <TwnLctnNm> <DstrctNm> <CtrySubDvsn> <Ctry>	Name	text(140)	△	△		Type B						名前をセット ※真の依頼人（第三者名義人）を設定する場合、必ずセット
95		Postal Address	-	△			-						[真の依頼人の住所]（注3） 配下にセットする場合、XMLタグをセット
96		Department	text(70)				Type B						部署をセット
97		Sub Department	text(70)				Type B						課をセット
98		Street Name	text(70)				Type B						町域 / 番地をセット
99		Building Number	text(16)				Type B						建物番号をセット
100		Building Name	text(35)				Type B						建物名をセット
101		Floor	text(70)				Type B						建物(階)をセット
102		Post Box	text(16)				Type B						私書箱をセット
103		Room	text(70)				Type B						部屋番号をセット
104		Post Code	text(16)				Type B						郵便番号をセット
105		Town Name	text(35)	△	△		Type B						市区町村をセット ※真の依頼人（第三者名義人）を設定する場合、必ずセット
106		Town Location Name	text(35)				Type B						区域をセット
107		District Name	text(35)				Type B						地方/都/地域をセット
108		Country Sub Division	text(35)				Type B						都道府県 / 州をセット
109		Country	text(2)	△	△		Type G						国名(国コード)をセット ※真の依頼人（第三者名義人）を設定する場合、必ずセット
110	<Id> <OrgId> <AnyBIC> <LEI> <Othr> <Id> <SchmeNm> <Cd> <Prtry> <Issr>	Identification	-	△			-						[ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット [事業体ID]または[個人ID]のいずれかをセット可能
111		Organisation Identification	-	△			-						[事業体ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
112		Any BIC	text(11)				Type F						BIC(SWIFTコード)をセット
113		LEI	text(20)				Type F						LEI (Legal Entity Identifier) をセット
114		Other	-	△			-						配下にセットする場合、XMLタグをセット
115		Identification	text(35)	△	△		Type A						IDをセット ※事業体IDをセットする場合、必ずセット
116		Scheme Name	-				-						[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能
117		Code	text(4)				Type G						コード形式のIDをセット（注4） (例) EMPL
118		Proprietary	text(35)				Type A						テキスト形式のIDをセット (例) Employer Identification Number
119		Issuer	text(35)				Type A						IDを発行した事業体をセット

項目番号	XML タグ					Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容
	階層							タグ	値			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
120	<PrvtId>	Private Identification	-	△				-				[個人ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
121		<DtAndPlcOfBirth>	Date And Place Of Birth	-	△			-				配下にセットする場合、XMLタグをセット
122		<BirthDt>	Birth Date	date(10)	△	△		-				生年月日(YYYY-MM-DD)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
123		<PrvcOfBirth>	Province Of Birth	text(35)				Type A				出生の州をセット
124		<CityOfBirth>	City Of Birth	text(35)	△	△		Type A				出生の都市をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
125		<CtryOfBirth>	Country Of Birth	text(2)	△	△		Type G				出生国(国コード)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット
126		<Othr>	Other	-	△			-				配下にセットする場合、XMLタグをセット
127		<Id>	Identification	text(35)	△	△		Type A				IDをセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット。 居住国が日本の場合、個人番号(マイナンバー)は セットしないでください。
128		<SchmeNm>	Scheme Name	-				-				[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能
129		<Cd>	Code	text(4)				Type G				コード形式のIDをセット (注4) (例) TXID ※居住国が日本の場合、「NIDN」 (National Identity Number)はセットしないでください
130		<Prtry>	Proprietary	text(35)				Type A				テキスト形式のIDをセット (例) Tax Identification Number ※居住国が日本の場合、個人番号(マイナンバー)に 相当する総称はセットしないでください
131		<Issr>	Issuer	text(35)				Type A				IDを発行した事業体をセット
132		<CtryOfRes>	Country Of Residence	text(2)				Type G				居住国(国コード)をセット (住所の国名と居住国が異なる場合)
133	<CdtTrfTxInf>	Credit Transfer Transaction Information	-	○		600	-					XMLタグをセット ※複数の送金明細をセットできます (注1)
134		<PmtId>	Payment Identification	-				-				[受取人宛Ref. No.] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
135		<InstrId>	Instruction Identification	text(35)				-				セット不要
136		<EndToEndId>	End To End Identification	text(35)				Type C				受取人宛Ref. No.をセット
137		<UETR>	UETR	text(30)				-				セット不要
138		<Amt>	Amount	-	○			-				[送金額] XMLタグをセット 送金金額または[相当額]のいずれかを必ずセット
139		<InstdAmt>	Instructed Amount	decimal(15, 3)	△	△		Type E				送金金額を指定する場合、送金通貨と金額をセット ※通貨はタグ内に含めてセット (例) 通貨USDで金額12345.60 の場合 <InstdAmt Ccy="USD">12345.60</InstdAmt>
140		<EqvtAmt>	Equivalent Amount	-	△			-				[相当額] 配下にセットする場合、XMLタグをセット
141		<Amt>	Amount	decimal(15, 3)	△	△		Type E				相当額を指定する場合、相当額の通貨と金額をセット ※通貨はタグ内に含めてセット (例) 金額1548円貨相当額の場合 <Amt Ccy="JPY">1548</Amt>
142		<CcyOfTrf>	Currency Of Transfer	text(3)	△	△		Type G				相当額 送金通貨略名(実際の送金通貨)をセット
143	<XchgRateInf>	Exchange Rate Information	-	△				-				[決済方法] 配下にセットする場合、XMLタグをセット 内訳1件の場合セット 内訳複数件の場合セット不要 (注5)
144		<UnitCcy>	Unit Currency	text(3)				-				セット不要
145		<XchgRate>	Exchange Rate	decimal(11, 10)				-				セット不要
146		<RateTp>	Rate Type	text(4)	△	△		-				相場区分をセット 「SPOT」SPOT 「AGRD」予約(CONT) ※内訳1件の場合、必ずセット ただし、円建／外貨(NODEX)はシステムで自動判定するため、 セット不要(引落口座の通貨と送金通貨が同じ場合)
147		<CtrctId>	Contract Identification	text(35)				Type E				予約番号をセット
148	<ChrgBr>	Charge Bearer	text(4)	○	○			-				支払銀行手数料負担区分をセット 「DEBT」依頼人負担 「SHAR」受取人負担 「CRED」全額受取人負担
149												
150												

項目番号	XML タグ				Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容			
	階層						タグ	値						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
151	<UltmtDbtr>		Ultimate Debtor				-	△		-	[真の依頼人（第三者名義人）] 配下にセットする場合、XML タグをセット <PmtInfr>配下（項目番号33）または、 <CdtTrffxlnf>配下（項目番号151）のいずれかをセット可能 ※両方セットしたらどちらも取り込まれません			
152			<Nm>				Name	text(140)	△	△	Type B	名前をセット ※真の依頼人（第三者名義人）を設定する場合、必ずセット		
153			<PstlAdr>				Postal Address	-	△		-	[真の依頼人の住所]（注3） 配下にセットする場合、XML タグをセット		
154			<Dept>				Department	text(70)			Type B	部署をセット		
155			<SubDept>				Sub Department	text(70)			Type B	課をセット		
156			<StrtNm>				Street Name	text(70)			Type B	町域 / 番地をセット		
157			<BldgNb>				Building Number	text(16)			Type B	建物番号をセット		
158			<BldgNm>				Building Name	text(35)			Type B	建物名をセット		
159			<Flr>				Floor	text(70)			Type B	建物（階）をセット		
160			<PstBx>				Post Box	text(16)			Type B	私書箱をセット		
161			<Room>				Room	text(70)			Type B	部屋番号をセット		
162			<PstCd>				Post Code	text(16)			Type B	郵便番号をセット		
163			<TwnNm>				Town Name	text(35)	△	△	Type B	市区町村をセット ※真の依頼人（第三者名義人）を設定する場合、必ずセット		
164			<TwnLctnNm>				Town Location Name	text(35)			Type B	区域をセット		
165			<DstrctNm>				District Name	text(35)			Type B	地方/郡/地域をセット		
166			<CtrySubDvsn>				Country Sub Division	text(35)			Type B	都道府県 / 州をセット		
167			<Ctry>				Country	text(2)	△	△	Type G	国名（国コード）をセット ※真の依頼人（第三者名義人）を設定する場合、必ずセット		
168	<Id>		Identification				-	△		-	[ID] 配下にセットする場合、XML タグをセット [事業体ID]または[個人ID]のいずれかをセット可能			
169			<OrgId>				Organisation Identification	-	△		-	[事業体ID] 配下にセットする場合、XML タグをセット		
170			<AnyBIC>				Any BIC	text(11)			Type F	BIC(SWIFTコード)をセット		
171			<LEI>				LEI	text(20)			Type F	LEI (Legal Entity Identifier) をセット		
172			<Othr>				Other	-	△		-	配下にセットする場合、XML タグをセット		
173			<Id>				Identification	text(35)	△	△	Type A	IDをセット ※事業体IDをセットする場合、必ずセット		
174			<SchmeNm>				Scheme Name	-			-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XML タグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能		
175			<Cd>				Code	text(4)			Type G	コード形式のIDをセット（注4） (例) EMPL		
176			<Prtry>				Proprietary	text(35)			Type A	テキスト形式のIDをセット (例) Employer Identification Number		
177			<Issr>				Issuer	text(35)			Type A	IDを発行した事業体をセット		
178	<Prvld>		Private Identification				-	△		-	[個人ID] 配下にセットする場合、XML タグをセット			
179			<DtAndPlcOfBirth>				Date And Place Of Birth	-	△		-	配下にセットする場合、XML タグをセット		
180			<BirthDt>				Birth Date	date(10)	△	△	-	生年月日(YYYY-MM-DD)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット		
181			<PrvcOfBirth>				Province Of Birth	text(35)			Type A	出生の州をセット		
182			<CityOfBirth>				City Of Birth	text(35)	△	△	Type A	出生の都市をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット		
183			<CtryOfBirth>				Country Of Birth	text(2)	△	△	Type G	出生国（国コード）をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット		
184			<Othr>				Other	-	△		-	配下にセットする場合、XML タグをセット		
185			<Id>				Identification	text(35)	△	△	Type A	IDをセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット。 居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）は セットしないでください。		
186			<SchmeNm>				Scheme Name	-			-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XML タグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能		
187			<Cd>				Code	text(4)			Type G	コード形式のIDをセット（注4） (例) TXID ※居住国が日本の場合、「NIDN」 (National Identity Number) はセットしないでください		
188			<Prtry>				Proprietary	text(35)			Type A	テキスト形式のIDをセット (例) Tax Identification Number ※居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）に 相当する総称はセットしないでください		
189			<Issr>				Issuer	text(35)			Type A	IDを発行した事業体をセット		

項目番号	XML タグ				Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容	
	階層	タグ	値									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
190					<CtryOfRes>	Country Of Residence	text(2)			Type G	居住国（国コード）をセット （住所の国名と居住国が異なる場合）	
191					<IntrmyAgt1>	Intermediary Agent1	-	△		-	[経由銀行1件目] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
192					<FinInstnId>	Financial Institution Identification	-	△		-	[経由銀行1件目情報] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
193					<BICFI>	BICFI	text(11)	△	△	Type F	BIC(SWIFTコード)をセット ※経由銀行1件目をセットする場合、必ずセット	
194					<Nm>	Name	text(140)	△	△	Type D	銀行名をセット ※経由銀行1件目をセットする場合、必ずセット	
195					<PstlAdr>	Postal Address	-	△		-	[経由銀行1件目の住所] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
196					<Dept>	Department	text(70)			Type D	部署をセット	
197					<SubDept>	Sub Department	text(70)			Type D	課をセット	
198					<TwnNm>	Town Name	text(35)	△	△	Type D	市区町村をセット ※経由銀行1件目をセットする場合、必ずセット	
199					<Ctry>	Country	text(2)	△	△	Type G	国名（国コード）をセット ※経由銀行1件目をセットする場合、必ずセット	
200					<IntrmyAgt2>	Intermediary Agent2	-	△		-	[経由銀行2件目] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
201					<FinInstnId>	Financial Institution Identification	-	△		-	[経由銀行2件目情報] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
202					<BICFI>	BICFI	text(11)	△	△	Type F	BIC(SWIFTコード)をセット ※経由銀行2件目をセットする場合、必ずセット	
203					<Nm>	Name	text(140)	△	△	Type B	銀行名をセット ※経由銀行2件目をセットする場合、必ずセット	
204					<PstlAdr>	Postal Address	-	△		-	[経由銀行2件目の住所] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
205					<Dept>	Department	text(70)			Type B	部署をセット	
206					<SubDept>	Sub Department	text(70)			Type B	課をセット	
207					<TwnNm>	Town Name	text(35)	△	△	Type B	市区町村をセット ※経由銀行2件目をセットする場合、必ずセット	
208					<Ctry>	Country	text(2)	△	△	Type G	国名（国コード）をセット ※経由銀行2件目をセットする場合、必ずセット	
209					<IntrmyAgt3>	Intermediary Agent3	-	△		-	[経由銀行3件目] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
210					<FinInstnId>	Financial Institution Identification	-	△		-	[経由銀行3件目情報] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
211					<BICFI>	BICFI	text(11)	△	△	Type F	BIC(SWIFTコード)をセット ※経由銀行3件目をセットする場合、必ずセット	
212					<Nm>	Name	text(140)	△	△	Type B	銀行名をセット ※経由銀行3件目をセットする場合、必ずセット	
213					<PstlAdr>	Postal Address	-	△		-	[経由銀行3件目の住所] 配下にセットする場合、XMLタグをセット	
214					<Dept>	Department	text(70)			Type B	部署をセット	
215					<SubDept>	Sub Department	text(70)			Type B	課をセット	
216					<TwnNm>	Town Name	text(35)	△	△	Type B	市区町村をセット ※経由銀行3件目をセットする場合、必ずセット	
217					<Ctry>	Country	text(2)	△	△	Type G	国名（国コード）をセット ※経由銀行3件目をセットする場合、必ずセット	
218					<CdtrAgt>	Creditor Agent	-	○		-	[受取人取引銀行] XMLタグをセット	
219					<FinInstnId>	Financial Institution Identification	-	○		-	[受取人取引銀行情報] XMLタグをセット ・国外向け送金 / 国内の他行口座への送金の場合 BIC(SWIFTコード)を必ずセット（含む当行海外支店への送金） ただし、BIC(SWIFTコード)が存在しない銀行の場合、 各国決済システム別金融機関コードをセット ※BIC(SWIFTコード)と各国決済システム別金融機関コード とともに不明な場合、<BICFI>に「0000000000」（ゼロ11桁） をセットし、[受取人取引銀行の住所]の<TwnNm>と<Ctry> を必ずセット	
					<BICFI>	BICFI	text(11)	△	△	Type F	[国内の当行口座への送金の場合] 銀行名（<Nm>タグ）を、ブランクでタグのみセット ※銀行名（<Nm>タグ）以外はセットしないでください	
220					<ClrSysMmbId>	Clearing System Member Identification	-	△		-	BIC(SWIFTコード)をセット ※BIC(SWIFTコード)を指定した場合、その他情報 (各国決済システム別金融機関コード・銀行名・住所)より、 BIC(SWIFTコード)を優先します	
221					<ClrSysId>	Clearing System Identification	-	△		-	[各国決済システム別金融機関コード] 配下にセットする場合、XMLタグをセット ※決済システムと金融機関コード/ID、 [受取人取引銀行の住所]の<TwnNm>と<Ctry>を必ずセット	
222					<Cd>	Code	text(5)	△	△	Type G	決済システムをセット（注4） (例) ATBLZ	
223					<MmbId>	Member Identification	text(28)	△	△	Type A	金融機関コード/IDをセット	
224					<LEI>	LEI	text(20)			Type F	LEI (Legal Entity Identifier) をセット	
225					<Nm>	Name	text(140)	○	○	Type D	銀行名をセット ※国内の当行口座への送金の場合、ブランク以外を指定した場合も 「三菱UFJ銀行」とセットされます	
226												

項目番号	XML タグ							属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容	
	階層								タグ	値				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
227														【受取人取引銀行の住所】 (注3) 配下にセットする場合、XMLタグをセット
228														部署をセット
229														課をセット
230														町域 / 番地をセット ※受取人取引銀行の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
231														建物番号をセット ※受取人取引銀行の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
232														建物名をセット ※受取人取引銀行の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
233														建物(階)をセット ※受取人取引銀行の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
234														私書箱をセット ※受取人取引銀行の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
235														部屋番号をセット ※受取人取引銀行の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
236														郵便番号をセット
237														市区町村をセット ※各国決済システム別金融機関コード、または BIC(SWIFTコード)に「00000000000」(ゼロ11桁)を セットする場合、必ずセット
238														区域をセット
239														地方/郡/地域をセット
240														都道府県 / 州をセット
241														国名(国コード)をセット ※各国決済システム別金融機関コード、または BIC(SWIFTコード)に「00000000000」(ゼロ11桁)を セットする場合、必ずセット
242														その他住所をセット ※Hybrid方式の場合、必ずセット
														※Hybrid方式でセットする場合、以下の項目の住所情報と 住所情報間のカンマ(銀行受付時に自動設定)を含めて 72文字以内であること
														<Dept> (項目228) <SubDept> (項目229) <PostCd> (項目236) <TwnNm> (項目237) <TwnLctnNm> (項目238) <DstrctNm> (項目239) <CtrySubDvsn> (項目240) <Ctry> (項目241) <AdrLine> (項目242)
														※Hybrid方式の利用において、セット不可の住所項目が セットされた場合は、住所項目 ([項目228]～[項目242]) についてすべて取り込まれません
														※1～2行目のセット内容はスペースなしで連結されて 取り込まれます 2行目を利用する場合は、先頭に半角スペースを セットしてください (例) 「New△York」を1,2行目に分けて入力する場合 (△は半角スペース) 1行目 New 2行目 △York
243														【受取人取引銀行の支店情報】 配下にセットする場合、XMLタグをセット
244														国内の他行口座への送金で 受取人口座の店番がご不明の場合のみ、支店名をセット
245														【受取人】 XMLタグをセット
246														名前をセット
247														【受取人の住所】 (注3) XMLタグをセット
248														部署をセット
249														課をセット
250														町域 / 番地をセット ※受取人の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
251														建物番号をセット ※受取人の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
252														建物名をセット ※受取人の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
253														建物(階)をセット ※受取人の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
254														私書箱をセット ※受取人の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
255														部屋番号をセット ※受取人の住所をHybrid方式にする場合、セット不可
256														郵便番号をセット
257														市区町村をセット
258														区域をセット
259														地方/郡/地域をセット
260														都道府県 / 州をセット
261														国名(国コード)をセット

項目番号	XML タグ							属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容	
	階層								タグ	値				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
262														<p>その他住所をセット ※Hybrid方式の場合、必ずセット</p> <p>※Hybrid方式でセットする場合、以下の項目の住所情報と住所情報間のカンマ（銀行受付時に自動設定）を含めて105文字以内であること</p> <p>&lt;Dept&gt; (項目248) &lt;SubDept&gt; (項目249) &lt;PstCd&gt; (項目256) &lt;TwnNm&gt; (項目257) &lt;TwnLctnNm&gt; (項目258) &lt;DstrctNm&gt; (項目259) &lt;CtrySubDvsn&gt; (項目260) &lt;Ctry&gt; (項目261) &lt;AdrLine&gt; (項目262)</p> <p>※Hybrid方式の利用において、セット不可の住所項目がセットされた場合は、住所項目（[項目248]～[項目262]）についてすべて取り込まれません</p> <p>※1～2行目のセット内容はスペースなしで連結されて取り込まれます 2行目を利用する場合は、先頭に半角スペースをセットしてください (例) 「New△York」を1,2行目に分けて入力する場合 (△は半角スペース) 1行目 New 2行目 △York</p>
263	<Id>		Identification											
264	<OrgId>		Organisation Identification											
265	<AnyBIC>		Any BIC			text(11)								
266	<LEI>		LEI			text(20)								
267	<0thr>		Other			—								
268	<Id>		Identification			text(35)								
269	<SchmeNm>		Scheme Name			—								
270	<Cd>		Code			text(4)								
271	<Prtry>		Proprietary			text(35)								
272	<Issr>		Issuer			text(35)								
273	<PrvId>		Private Identification			—								
274	<DtAndPlcOfBirth>		Date And Place Of Birth			—								
275	<BirthDt>		Birth Date			date(10)								
276	<PrvcOfBirth>		Province Of Birth			text(35)								
277	<CityOfBirth>		City Of Birth			text(35)								
278	<CtryOfBirth>		Country Of Birth			text(2)								
279	<0thr>		Other			—								
280	<Id>		Other Identification			text(35)								
281	<SchmeNm>		Scheme Name			—								
282	<Cd>		Code			text(4)								
283	<Prtry>		Proprietary			text(35)								
284	<Issr>		Issuer			text(35)								
285	<CtryOfRes>		Country Of Residence			text(2)				Type G		居住国をセット (住所の国名と居住国が異なる場合)		
286	<CdtrAcct>		Creditor Account			—	○			—		[受取人の口座情報] (注6) XMLタグをセット		
287	<Id>		Identification			—	○			—		[受取人の口座ID] XMLタグをセット IBANまたは[IBAN以外のID]のいずれかを必ずセット		
288	<IBAN>		IBAN			text(34)	△	△		Type F		IBAN (International Bank Account Number) をセット		
289	<0thr>		Other			—	△			—		[IBAN以外のID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット		
290	<Id>		Identification			text(34)	△	△	Type A, C, E			口座番号またはIDをセット (注6) 使用可能文字タイプは (注2) 参照		
291	<SchmeNm>		Scheme Name			—				—		[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能		
292	<Cd>		Code			text(4)				Type G		コード形式のIDをセット (注4) (例) BBAN		
293	<Prtry>		Proprietary			text(35)				Type A		テキスト形式のIDをセット (例) BBAN Identifier		
294	<Issr>		Issuer			text(35)				Type A		IDの発行者をセット		
295	<Tp>		Type			—				—				
296	<Cd>		Code			text(4)				—				
297	<Prtry>		Proprietary			text(35)				—				
298	<Ccy>		Currency			text(3)				—				
299	<Nm>		Name			text(70)				—				
300	<Prxy>		Proxy			—				—				
301	<Tp>		Type			—				—				
302	<Cd>		Code			text(4)				—				
303	<Prtry>		Proprietary			text(35)				—				
304	<Id>		Identification			text(320)				—				

項目番号	XML タグ			Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容			
	階層					タグ	値						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
305	<UltmtCdr>	Ultimate Creditor			-	△			-	[真の受取人（受取人以外に存在する場合）] 配下にセットする場合、XMLタグをセット			
306		<Nm>			Name	text(140)	△	△		Type B	名前をセット ※真の受取人（受取人以外に存在する場合）を セットする場合、必ずセット		
307		<PstlAdr>			Postal Address	-	△			-	[真の受取人の住所] (注3) 配下にセットする場合、XMLタグをセット		
308		<Dept>			Department	text(70)				Type B	部署をセット		
309		<SubDept>			Sub Department	text(70)				Type B	課をセット		
310		<StrtNm>			Street Name	text(70)				Type B	町域 / 番地をセット		
311		<BldgNb>			Building Number	text(16)				Type B	建物番号をセット		
312		<BldgNm>			Building Name	text(35)				Type B	建物名をセット		
313		<Flr>			Floor	text(70)				Type B	建物（階）をセット		
314		<PstBx>			Post Box	text(16)				Type B	私書箱をセット		
315		<Room>			Room	text(70)				Type B	部屋番号をセット		
316		<PstCd>			Post Code	text(16)				Type B	郵便番号をセット		
317		<TwnNm>			Town Name	text(35)	△	△		Type B	市区町村をセット ※真の受取人（受取人以外に存在する場合）を セットする場合、必ずセット		
318		<TwnLctnNm>			Town Location Name	text(35)				Type B	区域をセット		
319		<DstrctNm>			District Name	text(35)				Type B	地方/郡/地域をセット		
320		<CtrySubDvsn>			Country Sub Division	text(35)				Type B	都道府県 / 州をセット		
321		<Ctry>			Country	text(2)	△	△		Type G	国名（国コード）をセット ※真の受取人（受取人以外に存在する場合）を セットする場合、必ずセット		
322	<Id>	Identification			-	△			-	[ID]	配下にセットする場合、XMLタグをセット [事業体ID]または[個人ID]のいずれかをセット可能		
323		<OrgId>			Organisation Identification	-	△			-	[事業体ID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット		
324		<AnyBIC>			Any BIC	text(11)				Type F	事業体BIC (SWIFTコード) をセット ※真の受取人が事業体で、事業体BIC(SWIFTコード)を 保有している場合にセットしてください。		
325		<LEI>			LEI	text(20)				Type F	LEI (Legal Entity Identifier) をセット		
326		<Othr>			Other	-	△		2	-	[その他のID] 配下にセットする場合、XMLタグをセット 配下を繰り返すことにより、 その他のID(1件目)、(2件目)をセットできます。		
327		<Id>			Identification	text(35)	△	△		Type A	IDをセット ※事業体ID（その他のID）をセットする場合、必ずセット		
328		<SchmeNm>			Scheme Name	-				-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能		
329		<Cd>			Code	text(4)				Type G	コード形式のIDをセット (注4) (例) TXID		
330		<Prtry>			Proprietary	text(35)				Type A	テキスト形式のIDをセット (例) TaxIdentificationNumber		
331		<Issr>			Issuer	text(35)				Type A	IDを発行した事業体をセット		
332	<PrvtId>	Private Identification			-	△			-	[個人ID]	配下にセットする場合、XMLタグをセット		
333		<DtAndPlcOfBirth>			Date And Place Of Birth	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット		
334		<BirthDt>			Birth Date	date(10)	△	△		-	生年月日(YYYY-MM-DD)をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット		
335		<PrvcOfBirth>			Province Of Birth	text(35)				Type A	出生の州をセット		
336		<CityOfBirth>			City Of Birth	text(35)	△	△		Type A	出生の都市をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット		
337		<CtryOfBirth>			Country Of Birth	text(2)	△	△		Type G	出生国（国コード）をセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット		
338		<Othr>			Other	-	△			-	配下にセットする場合、XMLタグをセット		
339		<Id>			Identification	text(35)	△	△		Type A	IDをセット ※個人IDをセットする場合、必ずセット。 居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）は セットしないでください。		
340		<SchmeNm>			Scheme Name	-				-	[IDの総称] 配下にセットする場合、XMLタグをセット コード形式またはテキスト形式のいずれかをセット可能		
341		<Cd>			Code	text(4)				Type G	コード形式のIDをセット (注4) (例) TXID ※居住国が日本の場合、「NIDN」 (National Identity Number) はセットしないでください		
342		<Prtry>			Proprietary	text(35)				Type A	テキスト形式のIDをセット (例) Tax Identification Number ※居住国が日本の場合、個人番号（マイナンバー）に 相当する総称はセットしないでください		
343		<Issr>			Issuer	text(35)				Type A	IDを発行した事業体をセット		
344		<CtryOfRes>			Country Of Residence	text(2)				Type G	居住国（国コード）をセット (住所の国名と居住国が異なる場合)		
345	<InstrForCdrAgt>			Instruction For Creditor Agent			-			[連絡欄]	配下にセットする場合、XMLタグをセット		
346	<Cd>			Code			text(4)			-	受取人取引銀行宛連絡コードをセット 「PHOB」電話番号 ※電話番号の場合、「PHOB」をセット その他の場合、セッタ不要		
347	<InstrInf>			Instruction Information			text(140)			Type C	受取人取引銀行宛連絡事項をセット		

項目番号	XML タグ				Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容	
	階層						タグ	値				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
348					<InstrForDbtrAgt>	Instruction For Debtor Agent	text(140)			Type A	当行宛取引指定コード、または 内訳2件の情報 (注5) のいずれかをセット可能 ※当行宛取引指定コードをセットする場合、 当行からお客様までご連絡するコード以外は セットしないでください。	
349												
350												
351												
◆ 送金目的が「貿易」、「仲介貿易」の場合、外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報 (<RgltryRptg>タグ) は必須 (注9)												
352					<RgltryRptg>	Regulatory Reporting	-	△	2	-	[各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報] (注9) XMLタグをセット 各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報と、 外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセット	
353												
354												
355												
356												
357												
358												
359												
360												
361												
362												
363												
364												
365												
366												
367												
368												
369												
370												
371												
372												
373												
374												
375												
376												
377												
378												

項目番号	XML タグ													Message Item	属性	必須		繰返最大数	使用可能文字タイプ (注2)	内容				
	階層															タグ	値							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13											
379	<XchgRateInf>	Exchange Rate Information														-	△		-	配下にセットする場合、XMLタグをセット				
380		<RateTp>														text(4)	△	△		相場区分をセット 「SPOT」SPOT 「AGRD」予約(CONT) ※内訳が複数件の場合、必ずセット ただし、外貨(NOEX)はシステムで自動判定するため、 セット不要（引落口座の通貨と送金通貨が同じ場合）				
381		<CtrctId>														text(7)			Type E	予約番号をセット				
382		<MultPurp>														Multi Purpose	-	△		-	[送金目的] 配下にセットする場合、XMLタグをセット			
383		<Amt>														Amount	-	△	2	-	[送金目的の金額] 配下にセットする場合、XMLタグをセット 配下を繰り返すことにより、1件目の送金目的の金額、 2件目の送金目的の金額をセットできます。 ※送金目的が2件の場合、必ずセット			
384		<InstdAmt>														Instructed Amount	decimal(15, 3)	△	△		Type E	送金目的の金額をセット		
385		<CustIntrnalRef>														Customer Internal Reference	text(40)				Type C	[送金指定日等] 社内Ref. No. をセット		

## (注1) 複数の送金明細の数え方とセットイメージ

<PmtInf>タグ(項番44)と<CdtTrfTxInf>タグ(項番133)の繰返しにより、複数の送金明細をセットできます。

送金依頼の明細数は、<CdtTrfTxInf>タグをカウントします。

一度に複数の明細を依頼する場合、同じ送金指定日の明細をまとめて依頼できます。  
送金指定日が2024年7月1日の明細3件、2024年7月5日の明細2件、2024年7月31日の明細1件の場合のセット例

```
<PmtInf>
  <ReqdExctnDt><Dt>2024-07-01</Dt></ReqdExctnDt>
  ...
  <CdtTrfTxInf>
    ...
  </CdtTrfTxInf>
  ...
  <CdtTrfTxInf>
    ...
  </CdtTrfTxInf>
</PmtInf>
```

<CdtTrfTxInf>を  
3回繰り返し  
… 3明細 (A)

ファイルの明細数は  
<CdtTrfTxInf>の合計

3明細 (A)

2明細 (B)

1明細 (C)

合計 6明細

```
<PmtInf>
  <ReqdExctnDt><Dt>2024-07-05</Dt></ReqdExctnDt>
  ...
  <CdtTrfTxInf>
    ...
  </CdtTrfTxInf>
  <CdtTrfTxInf>
    ...
  </CdtTrfTxInf>
</PmtInf>
```

<CdtTrfTxInf>を  
2回繰り返し  
… 2明細 (B)

<PmtInf>を  
3回繰り返し

```
<PmtInf>
  <ReqdExctnDt><Dt>2024-07-31</Dt></ReqdExctnDt>
  ...
  <CdtTrfTxInf>
    ...
  </CdtTrfTxInf>
</PmtInf>
```

<CdtTrfTxInf>  
繰り返しなし  
… 1明細 (C)

## (注2) 使用可能文字タイプについて

項目によって使用できる文字が異なります。以下のタイプ別使用可能文字をご確認のうえ、ご使用ください。

Type	英字（半角）	数字（半角）	記号（半角） (※1)																																
Type A	A~Z、a~z	0~9	/	-	?	:	(	)	.	,	'	+																					SP(スペース)		
Type B	A~Z、a~z	0~9	/	-	?	:	(	)	.	,	'	+	!	#	&	%	*	=	^	_	'	{	}	~	"	:	@	[	¥	]	\$	>	<	SP(スペース)	
Type C	A~Z、a~z	0~9	/	-	:	(	)	.	,	'	+																							SP(スペース)	
Type D	A~Z、a~z	0~9	/	-	:	(	)	.	,	'	+			&	%	*	=										:	@	¥	\$			SP(スペース)		
Type E (※2)		0~9																																	
Type F	A~Z、a~z (※3)	0~9																																	
Type G	A~Z、a~z (※3)																																		

(※1) 下表の予約文字をセットする場合、実体参照でセットしてください。読み込み時に変換されます。

予約文字	実体参照
<	&lt;
&	&amp;
>	&gt;
"	&quot;

(※2) 金額項目のみ記号が使用できます。

(※3) 小文字でセットした英字は、大文字に変換されます。

## 項番290「口座番号またはID」の使用可能文字タイプ

項番290 の <Id> タグは、セットする内容によって使用可能文字タイプが異なります。

項番	タグ	内容	パターン	セット内容	使用可能文字タイプ
290	<Id>	口座番号またはID	外国向け送金 / 国内の他行口座への送金の場合	口座番号 (国内の他行口座への送金で受取人口座の店番がお分かりの場合、 店番 + 口座番号)	Type C
				その他のID	Type A
			国内の当行口座への送金の場合	当行支店コード + 科目 + 口座番号	Type E

## 項番364「補足情報」の使用可能文字タイプ

項番364 の <Inf> タグは、セットする内容によって使用可能文字タイプが異なります。

項番	タグ	内容	パターン	セット内容	使用可能文字タイプ	
364	<Inf>	補足情報	各国中央銀行等に報告が必要な 法規制等の情報	補足情報	Type A	
				商品の品目	Type A	
			外為法適法性確認に必要な 商品の品目等の情報	原産地 ISO国コード(2桁)	Type G	
				船積地域 ISO国コード(2桁)	Type G	
				船積地域都市名	Type A	
			仕向地	仕向地 ISO国コード(2桁)	Type G	
				仕向地都市名	Type A	
			国際収支項目番号	国際収支項目番号	Type E	
				許可等	許可番号	Type A
					許可日付(YYYYMMDD)	Type E

(注3) 「住所の入力例」については、BizSTATION画面上「ヘルプメニュー」の「Q&A」から、「よくあるご質問」参照

(注4) BizSTATION画面右上の「ヘルプメニュー」 - 「操作マニュアル」 - 「各種コード・番号一覧」の「ISO20022 External Code一覧」参照

## (注5) 決済方法を分割して内訳を複数指定する場合

次の2パターンいずれかの方法で、内訳をセットしてください。

- パターン① 個別フォーマット<FXSplmtryData> (Foreign Exchange Supplementary Data) (項番371) を利用する (内訳2件以上20件までセット可能)。
  - パターン② 当行宛取引指定コード<InstrForDbtrAgt> (Instruction For Debtor Agent) (項番348) を利用する (内訳2件のみ可能)。
- 内訳をセットする場合、当行宛取引指定コードはご指定いただけません。

※以下に該当する場合、決済方法を分割することはできません。

- ・送金通貨が“JPY(日本円)”の場合
- ・送金額を相当額で指定した場合
- ・クロス取引の場合

### セット内容

#### パターン①

<FXSplmtryData> (項番371) に内訳件数分繰り返しセットします。内訳2件以上20件までセット可能です。

項番	タグ	内容	セット内容
85~88	<DbtrAcct>	-	セット不要
133	<CdtTrfTxInf>	-	XMLタグをセット
138	<Amt>	[送金額]	XMLタグをセット
139	<InstdAmt>	送金額	送金通貨と金額をセット ※通貨はタグ内に含めてセット (例) 通貨EURで金額9876.00 の場合 <InstdAmt Ccy="EUR">9876.00</InstdAmt>
140	<Ccy>	送金額の通貨略名	
141~144	<EqvtAmt>	-	セット不要
145~149	<XchgRateInf>	-	セット不要
348	<InstrForDbtrAgt>	-	セット不要
367	<SplmtryData>	-	XMLタグをセット
368	<Envlp>	-	XMLタグをセット
369	<Document>	-	XMLタグをセット
370	<M1tp1DbtAcctsSD1>	-	XMLタグをセット
371	<FXSplmtryData>	-	XMLタグをセット
372	<DbtrAcct>	-	XMLタグをセット
373	<Id>	-	XMLタグをセット
374	<0thr>	-	XMLタグをセット
375	<Id>	引落口座番号	「引落口座店番(3桁)(前ゼロ埋め) +引落口座通貨略名(3桁) +引落口座科目コード(2桁) (「00」普通／「01」当座) +引落口座番号(7桁)(前ゼロ埋め)」をセット  (例) 引落口座の店番001、通貨JPY、 科目(普通) 00、口座番号1234567 の場合 <Id>001JPY001234567</Id>
376	<Ccy>	-	セット不要
377	<Amt>	-	XMLタグをセット
378	<InstdAmt>	内訳金額	内訳金額をセット (例) 送金額9876.00のうち、内訳金額(1)が 5555.00 の場合 <InstdAmt>5555.00</InstdAmt>
379	<XchgRateInf>	-	XMLタグをセット
380	<RateTp>	相場区分	相場区分をセット 「SPOT」 SPOT 「AGRД」 予約(CONT) ※外貨(NOEX)はシステムで自動判定するため、 セット不要 (引落口座の通貨と送金通貨が同じ場合)
381	<CtrctId>	予約番号	予約番号をセット
371	<FXSplmtryData>	-	XMLタグをセット
372	<DbtrAcct>	-	XMLタグをセット
373	<Id>	-	XMLタグをセット
374	<0thr>	-	XMLタグをセット
375	<Id>	引落口座番号	「引落口座店番(3桁)(前ゼロ埋め) +引落口座通貨略名(3桁) +引落口座科目コード(2桁) (「00」普通／「01」当座) +引落口座番号(7桁)(前ゼロ埋め)」をセット  (例) 引落口座の店番001、通貨JPY、 科目(普通) 00、口座番号3456789 の場合 <Id>001JPY003456789</Id>
376	<Ccy>	-	セット不要
377	<Amt>	-	XMLタグをセット
378	<InstdAmt>	内訳金額	内訳金額をセット (例) 送金額9876.00のうち、内訳金額(2)が 4321.00 の場合 <InstdAmt>4321.00</InstdAmt>
379	<XchgRateInf>	-	XMLタグをセット
380	<RateTp>	相場区分	相場区分をセット 「SPOT」 SPOT 「AGRД」 予約(CONT) ※外貨(NOEX)はシステムで自動判定するため、 セット不要 (引落口座の通貨と送金通貨が同じ場合)
381	<CtrctId>	予約番号	予約番号をセット

以降、必要な件数分371~381番を繰り返し

## パターン②

■引落口座を1つ利用するか、2つ利用するかでセット方法が変わります

### ・1つの口座を利用する場合、

送金額は<InstdAmt>（項番139）に、引落口座情報は<DbtrAcct>（項番85）に、内訳は<InstrForDbtrAgt>（項番348）にセットします。

（1口座のセット例）

通貨USDで金額12,000	内訳(1) : 内訳金額7,000、相場区分CONT、予約番号1400220
引落口座001JPY普通0001112	内訳(2) : 内訳金額5,000、相場区分CONT、予約番号1400221

```
<DbtrAcct>
  <Id>
    <0thr> [引落口座]
      <Id>001JPY000001112</Id>
    </0thr>
  </Id>
</DbtrAcct>
```

```
<CdtTrfTxInf>
  <Amt> [送金額]
    <InstdAmt Ccy="USD">12000.00</InstdAmt>
  </Amt> [内訳2]
  <InstrForDbtrAgt>MU-RA, 7000.00, USD, AGRD, 1400220n5000.00, USD, AGRD, 1400221</InstrForDbtrAgt>
</CdtTrfTxInf> [内訳1]
```

### ・2つの口座を利用する場合、

送金額は<InstdAmt>（項番139）に、引落口座情報と内訳は<InstrForDbtrAgt>（項番348）にセットします。<DbtrAcct>（項番85）はセット不要です。

（2口座のセット例）

通貨USDで金額30,000	内訳(1) : 引落口座001JPY普通0001112、内訳金額20,000、相場区分CONT、予約番号1400565
	内訳(2) : 引落口座999USD当座0123456、内訳金額10,000、相場区分NOEX、予約番号なし

```
<CdtTrfTxInf>
  <Amt> [送金額]
    <InstdAmt Ccy="USD">30000.00</InstdAmt>
  </Amt> [内訳1] [内訳2]
  <InstrForDbtrAgt>MU-AC, 001JPY000001112, 20000.00, USD, AGRD, 1400565n999USD010123456, 10000.00, USD, AGRD, 1400221</InstrForDbtrAgt>
</CdtTrfTxInf> [引落口座1] [引落口座2]
```

### ■<InstrForDbtrAgt>タグの区切りについて

口座指定方法によって、下記表の項目を“,”（カンマ）で区切り、内訳（1）、内訳（2）の順にセットする必要があります。

引落口座（店番、口座通貨、科目、口座番号）は“,”（カンマ）で区切らずセットします。

1口座を引落口座とする場合、引落口座とその後の“,”（カンマ）はセット不要です。（＊）

内訳（1）と内訳（2）の区切りは“n”をセットします。

項目	内訳(1)								内訳 1,2の 区切	内訳(2)								
	引落口座				内訳(1)					引落口座				内訳(2)				
(固定文言)	店番	口座通貨	科目	口座番号	内訳金額	送金通貨	相場区分	予約番号		店番	口座通貨	科目	口座番号	内訳金額	送金通貨	相場区分	予約番号	
桁数	-	3	3	2	7	15	3	4	-	3	3	2	7	15	3	4	7	
1口座	MU-RA	セット不要			7000.00	USD	AGRD	1400220	n	セット不要			5000.00	USD	AGRD	1400221		
2口座	MU-AC	001	JPY	00	0001112	20000.00	USD	AGRD	1400565	n	999	USD	01	0123456	10000.00	USD	ブランク	ブランク
カンマ 区切りの位置	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	カンマ	

※ 内訳(1)の予約番号がブランク（相場区分がSPOTまたはNOEX）の場合、”,”（カンマ）に”n”が続きます

(例) 通貨USDで金額8,000	内訳(1) : 内訳金額3,000、相場区分SPOT、予約番号なし
1つの口座を利用	内訳(2) : 内訳金額5,000、相場区分CONT、予約番号1400789

```
<InstrForDbtrAgt>MU-RA, 3000.00, USD, SPOT, n5000.00, USD, AGRD, 1400789</InstrForDbtrAgt>
```

### ■<InstrForDbtrAgt>タグ（項番348） セット内容詳細については以下の通りです

項目	最大桁数	セット内容
(固定文言)	-	固定文言をセット 「MU-RA」 引落口座を1つ利用 「MU-AC」 引落口座を2つ利用
引 落 口 座	店番	3 引落口座店番(3桁)(前ゼロ埋め)をセット
	口座通貨	3 引落口座通貨略名をセット
	科目	2 引落口座科目コードをセット 「00」 普通 「01」 当座
	口座番号	7 引落口座番号(7桁)(前ゼロ埋め)をセット
内訳金額	15	内訳金額をセット ※ 記号、（カンマ）は不可
送金通貨	3	送金通貨略称をセット
相場区分	4	相場区分をセット 「SPOT」 SPOT 「AGRD」 約定(CONT) ※外貨(NOEX)はセットなし
予約番号	7	予約番号をセット

## (注6) 受取人の口座情報のセット内容

受取人の口座情報は、Creditor Account <CdtrAcct> (項番286) にセットします。  
パターンにより、同じ項番のタグでもセット内容が異なります。下記の通りセットしてください。

### セット内容

No.	パターン	項番	タグ	内容	セット内容	
1 外国向け送金 / 国内の他行口座への送金の場合 * 口座情報の種類により、セット内容が異なります ①: 口座番号 ②: IBAN ③: その他のID		286	<CdtrAcct>	[受取人の口座情報]	XMLタグをセット	
		287	<Id>	[受取人の口座ID]	XMLタグをセット	
		288	<IBAN>	IBAN (International Bank Account Number)	①セット不要 ②IBAN (International Bank Account Number) をセット ③セット不要	
		289	<Othr>	[IBAN以外のID]	XMLタグをセット	
		290	<Id>	口座番号またはID	①外国向け送金の場合 口座番号をセット (注2) 国内の他行口座への送金の場合 店番(3桁) + “-” + 口座番号(7桁) をセット (注2) (例) XXX-1234567 ※受取人口座の店番がご不明の場合は <Id> (項番244) に支店名、当項目に口座番号(7桁)をセット	
		291	<SchmeNm>	[IDの総称]	XMLタグをセット	
		292	<Cd>	コード形式のID	①セット不要 ②セット不要 ③コード形式のIDをセット (注4) (例) BBAN	
		293	<Prtry>	テキスト形式のID	①セット不要 ②セット不要 ③テキスト形式のIDをセット (例) BBANIdentifier	
		294	<Issr>	IDの発行者	①セット不要 ②セット不要 ③IDの発行者をセット	
		286 287 288 289 290 291 292 293 294	<CdtrAcct>	[受取人の口座情報]	XMLタグをセット	
2 国内の当行口座への送金の場合		287	<Id>	[受取人の口座ID]	XMLタグをセット	
		288	<IBAN>	-	セット不要	
		289	<Othr>	[IBAN以外のID]	XMLタグをセット	
		290	<Id>	店番、科目、口座番号	「当行支店コード(下3桁) + 科目(2桁) (「00」普通／「01」当座) + 口座番号(7桁)」をセット (注2) (例) 当行支店コード001、科目(普通) 00、 口座番号1234567の場合、 <Id>001001234567</Id>	
		291	<SchmeNm>	-	セット不要	
		292	<Cd>	-	セット不要	
		293	<Prtry>	-	セット不要	
		294	<Issr>	-	セット不要	

## (注7) Purpose <Purp> のセット例

送金目的分類により、設定する内容が異なります。下記の通りセットしてください。

- ・送金目的が2件の場合、<Prtry>に2件の内容を記号 / (スラッシュ) で区切ってセット (<Cd>に2件セットできません)
- ・<Prtry>は記号 / (スラッシュ) 辺みで最大35桁まで
- ・「送金目的」のデータ内容に記号 / (スラッシュ) は使用不可
- ・2種類の分類を組み合わせる場合、指定順に制約はありません (No. 7~9はセット例ですが、逆順でもセット可能です)

※送金目的が2件の場合、Multi Purpose <MultiPurp> (項目番号382) で送金目的の金額をセットする必要があります

No.	送金目的分類		項目番	タグ	内容	セット内容 (△は半角スペース1個を示す)
	1件目	2件目				
1	貿易		349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"IMPORT"をセット
2	仲介貿易		349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"INTERMEDIARY△TRADE"をセット
3	貿易外取引 (含む資本取引)		349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	ISOコード形式の送金目的	ISOコード形式 (注8) またはテキスト形式で送金目的をセット
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	使用しないXMLタグはセット不要
4	貿易	貿易	349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"IMPORT/IMPORT"をセット
5	仲介貿易	仲介貿易	349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"INTERMEDIARY△TRADE"を1件のみセット ※複数の場合でも記号 / (スラッシュ) を使用せず1つのみセット
6	貿易外取引 (含む資本取引)	貿易外取引 (含む資本取引)	349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	「テキスト形式/テキスト形式」または 「ISOコード形式/ISOコード形式」 (注8) でセット ※ファイルアップロード時には、下記いずれの例の場合でも送金内容入力 画面の送金目的1件目および2件目の直接入力欄にセットされます (例1) 「テキスト形式/テキスト形式」でセットする場合 <Prtry>Royalties/Tax Payment</Prtry> (例2) 「ISOコード形式/ISOコード形式」でセットする場合 <Prtry>ROYA/TAX</Prtry>
7	貿易	仲介貿易	349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"IMPORT/INTERMEDIARY△TRADE"をセット
8	貿易	貿易外取引 (含む資本取引)	349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"IMPORT"に続けて2件目の内容をセット (例) <Prtry>IMPORT/Royalties</Prtry>
9	仲介貿易	貿易外取引 (含む資本取引)	349	<Purp>	[送金目的分類/送金目的]	XMLタグをセット
			350	<Cd>	-	セット不要
			351	<Prtry>	テキスト形式の送金目的	"INTERMEDIARY△TRADE"に続けて2件目の内容をセット (例) <Prtry>INTERMEDIARY△TRADE/Royalties</Prtry>

(注8) BizSTATION画面右上の「ヘルプメニュー」 - 「操作マニュアル」 - 「各種コード・番号一覧」の「ISO送金目的コード一覧」参照

(注9) RegulatoryReporting <RgltryRptg> のセット内容

各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報および、外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットします。

受取人取引銀行の所在国現地規制により、セットが必要な通知事項がございます。詳細は、ホームページをご参照ください。

セット内容

No.	パターン	項目番号	タグ	内容	セット内容
1	各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報をセットする場合 ※外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットしない場合、No. 2、3は不要	352	<RgltryRptg>	[各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報]	各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報をセットする場合 ※外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットしない場合、No. 2、3は不要
		353	<DbtCdtRptgInd>	法規制等の適用側	
		354	<Authrty>	[法規制等の要求者（各国中央銀行等）]	
		355	<Nm>	法規制等の要求者名（各国中央銀行等）	
		356	<Ctry>	法規制等の要求者所在国（各国中央銀行所在国）	
		357	<DtIs>	[法規制等の詳細]	
		358	<Tp>	法規制等の種類	
		359	<Dt>	法規制等の種類が提示された日付	
		360	<Ctry>	法規制等の種類を提示した国	
		361	<Cd>	報告の理由等（コード形式）	
		362	<Amt>	報告金額	
		363	<Ccy>	報告金額の通貨略名	
		364	<Inf>	[補足情報]	
					XMLタグをセット "CRED"、"DEBT"、"BOTH"のいずれかをセット XMLタグをセット 法規制等の要求者名をセット 法規制等の要求者所在国コード(2桁)をセット XMLタグをセット 法規制等の種類をセット 法規制等の種類が提示された日付(YYYY-MM-DD)をセット 法規制等の種類を提示した国コード(2桁)をセット 報告の理由等（コード形式）をセット 報告通貨と金額をセット ※通貨はタグ内に含めてセット (例) 通貨USDで金額1548.00 の場合 <Amt Ccy ="USD">1548.00</Amt> 補足情報をセット（注2） 最大10個まで繰り返しセットできます。 セットした内容はすべて連結して取り込みます。
2	送金目的1件目の外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットする場合 ※各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報をセットしない場合、No. 1は不要 ※送金目的2件目の外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットしない場合、No. 3は不要	352	<RgltryRptg>	[外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報]	外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットする場合 ※各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報をセットしない場合、No. 1は不要 ※送金目的2件目の外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットしない場合、No. 3は不要
		353	<DbtCdtRptgInd>	-	
		354	<Authrty>	-	
		355	<Nm>	-	
		356	<Ctry>	-	
		357	<DtIs>	[商品の品目等の情報]	
		358	<Tp>	-	
		359	<Dt>	-	
		360	<Ctry>	-	
		361	<Cd>	-	
		362	<Amt>	-	
		363	<Ccy>	-	
		364	<Inf>	[各情報の内容]	
					XMLタグをセット "DEBT"をセット セット不要 セット不要 セット不要 XMLタグをセット セット不要 セット不要 セット不要 セット不要 セット不要 ※ 詳細は「送金目的分類別セット表」参照
3	送金目的2件目の外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットする場合 ※各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報をセットしない場合、No. 1は不要	357	<RgltryRptg>	[商品の品目等の情報]	送金目的2件目の外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報をセットする場合 ※各国中央銀行等に報告が必要な法規制等の情報をセットしない場合、No. 1は不要
		358	<DbtCdtRptgInd>	-	
		359	<Authrty>	-	
		360	<Nm>	-	
		361	<Ctry>	-	
		362	<Cd>	-	
		363	<Amt>	-	
		364	<Ccy>	-	
					XMLタグをセット セット不要 セット不要 セット不要 セット不要 セット不要 ※ 詳細は「送金目的分類別セット表」参照

## 送金目的分類別セット表

送金目的分類により、<Inf>に設定する内容が異なります。下表の通りセットしてください。

- ・貿易、仲介貿易の場合、送金目的分類は必ずセット
- ・貿易、仲介貿易の場合、商品の品目は必ずセット
- ・送金目的が「輸入代金」「商品代金」「仲介貿易代金」の場合、原産地・船積地域の国コードは必ずセット
- ・送金目的が「仲介貿易代金」の場合、仕向地の国コードは必ずセット
- ・船積地域が中国・韓国・ロシアの場合、国コードと都市名を必ずセット
- ・貿易外取引(含む資本取引)で国際収支項目番号と許可等をセッタしない場合、<Dt1s>タグ配下は省略可能  
(ただし、送金目的が2件で、1件目が貿易外取引(含む資本取引)の場合は、省略はできません。)

国際収支項目番号や許可等をセッタしない場合でも、送金目的分類に“NON△TRADE”をセットしてください。)

項番364「各情報の内容」の使用可能文字タイプは(注2)をご参照ください。

送金目的分類	項番	タグ	内容	セット内容 (△は半角スペース1個を示す)
貿易	364	<Dt1s>	[商品の品目等の情報]	XMLタグを必ずセット
		<Inf>	[各情報の内容]送金目的分類	“IMPORT”を必ずセット
		<Inf>	[各情報の内容]商品の品目	“ITEM△”に続けて、商品の品目(最大22桁)を必ずセット (例) <Inf>ITEM△VEGETABLES</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]原産地	“ORGN△”に続けて、原産地の国コード(2桁)を必ずセット (例) <Inf>ORGN△US</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]船積地域	“LOAD△”に続けて、船積地域の国コード(2桁)△都市名(最大27桁)をセット ※船積地域の国コードは必ずセット 船積地域の都市名は、船積地域の国コードが中国・韓国・ロシアの場合、必ずセット (例) <Inf>LOAD△US△LOSANGELES</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]仕向地	“DEST△”に続けて、仕向地の国コード(2桁)△都市名(最大27桁)をセット(任意) (例) <Inf>DEST△US△LOSANGELES</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]許可等	“LONS△”に続けて、許可番号(最大20桁)/許可日付(YYYYMMDD)をセット(任意) ※許可番号と許可日付の間は、記号 / (スラッシュ) (例) <Inf>LONS△LICENCE△NO△123456789/20241023</Inf>
		<Dt1s>	[商品の品目等の情報]	XMLタグを必ずセット
仲介貿易	364	<Dt1s>	[各情報の内容]送金目的分類	“INTERMEDIARY△TRADE”を必ずセット
		<Inf>	[各情報の内容]商品の品目	“ITEM△”に続けて、商品の品目(最大22桁)を必ずセット (例) <Inf>ITEM△VEGETABLES</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]原産地	“ORGN△”に続けて、原産地の国コード(2桁)を必ずセット (例) <Inf>ORGN△US</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]船積地域	“LOAD△”に続けて、船積地域の国コード(2桁)△都市名(最大27桁)をセット ※船積地域の国コードは必ずセット 船積地域の都市名は、船積地域の国コードが中国・韓国・ロシアの場合、必ずセット (例) <Inf>LOAD△US△LOSANGELES</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]仕向地	“DEST△”に続けて、仕向地の国コード(2桁)△都市名(最大27桁)をセット ※仕向地の国コードは必ずセット (例) <Inf>DEST△US△LOSANGELES</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]国際収支項目番号	“IMF△071”をセット(任意)
		<Inf>	[各情報の内容]許可等	“LONS△”に続けて、許可番号(最大20桁)/許可日付(YYYYMMDD)をセット(任意) ※許可番号と許可日付の間は、記号 / (スラッシュ) (例) <Inf>LONS△LICENCE△NO△123456789/20241023</Inf>
		<Dt1s>	[商品の品目等の情報]	配下にセットする場合、XMLタグをセット (送金目的2件目をセットする場合、送金目的1件目のXMLタグを必ずセット)
(含む資本取引)	364	<Inf>	[各情報の内容]送金目的分類	“NON△TRADE”をセット (送金目的2件目をセットする場合、送金目的1件目の“NON△TRADE”を必ずセット)
		<Inf>	[各情報の内容]国際収支項目番号	“IMF△”に続けて、国際収支項目番号※をセット ※国際収支項目番号は、下3桁(1000番台は4桁) ※3千万円相当額超の送金は、「支払又は支払の受領に関する報告書」の提出が必要です。 BizSTATIONで報告書を作成する場合は、セットを推奨します。 (例) <Inf>IMF△1001</Inf>
		<Inf>	[各情報の内容]許可等	“LONS△”に続けて、許可番号(最大20桁)/許可日付(YYYYMMDD)をセット(任意) ※許可番号と許可日付の間は、記号 / (スラッシュ) (例) <Inf>LONS△LICENCE△NO△123456789/20241023</Inf>

## 具体的な記述例

(例) 外為法適法性確認に必要な商品の品目等の情報が、

送金目的1件目の情報が、仲介貿易で、原産地：韓国、船積地：ソウル、仕向地：ベトナム

送金目的2件目の情報が、貿易外取引(含む資本取引)

```

<RgltryRptg>
  <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd>
  <Dt1s>
    <Inf>INTERMEDIARY TRADE</Inf>
    <Inf>ITEM CUP</Inf>
    <Inf>ORGN KR</Inf>
    <Inf>LOAD KR SEOUL</Inf>
    <Inf>DEST VN</Inf>
    <Inf>IMF 071</Inf>
    <Inf>LCNS LICENCE NO 123456789/20241023</Inf>
  </Dt1s>
  <Dt1s>
    <Inf>NON TRADE</Inf>
    <Inf>IMF 1001</Inf>
  </Dt1s>
</RgltryRptg>

```